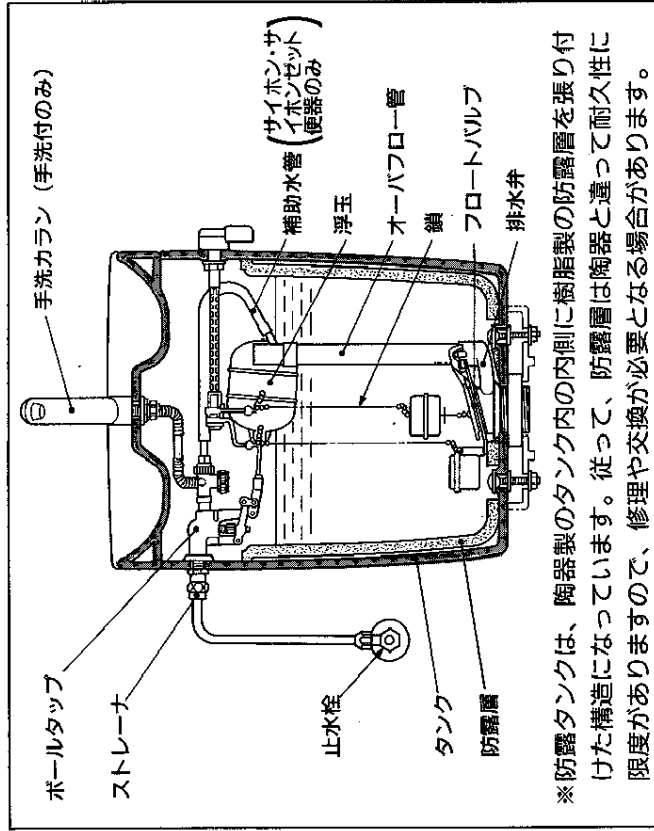




# 各部のなまえ



## ボールタップ

止水栓を通った水は、ここからタンクに入ります。ボールタップはタンクに入った水が、一定の高さまで溜まると浮玉の浮力によって自動的に水を止める役目をします。

## フロートバルブ

タンクに溜まった水を便器に流したり、止めたりする弁の役目をします。

## オーバフロー管

万一ボールタップが故障して水が止まらなくなったり、タンクからあふれる前に、ここから便器の方へ流す役目をします。

なお、ボールタップからの流水量が多すぎると、その役目を十分に果たせないので、止水栓又は、元バルブで流水量を調節しておく必要があります。

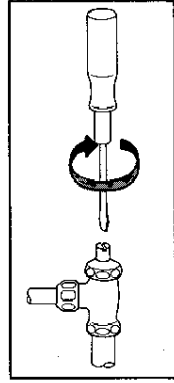
## ストレーナ

ボールタップ内に配管中のゴミ、砂などが入りますと、故障の原因になります。ストレーナはゴミ、砂などを防ぐ役目をします。ストレーナが詰まると、タンクに水を溜めるのに時間が長くなり、掃除する必要があります。

## 主要部分の役目

### 止水栓

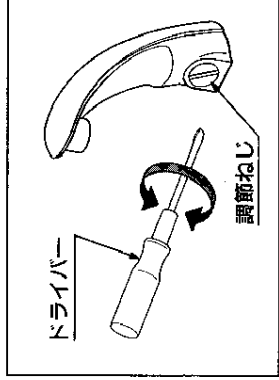
水道の水はここを通ってボールタップにいきます。止水栓はボールタップにいく水を止めること、タンクへの流入量を調節する役目をします。



ドライバーで右に回すと止まります。ハンドル付の場合はハンドルを回してください。

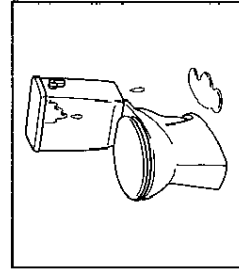
## 手洗吐水量調節ねじ(流動、水抜方式のみ)

手洗吐水量を適量に調節する役目をします。

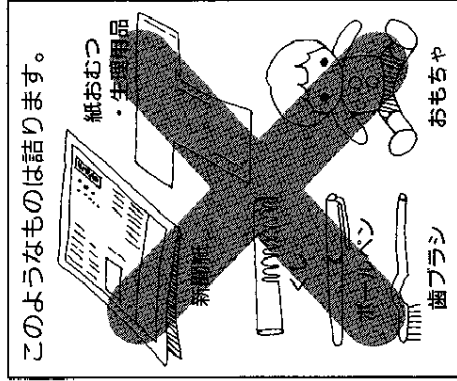


ドライバーなどで調節ねじを回して、適量な吐水量に調節してください。

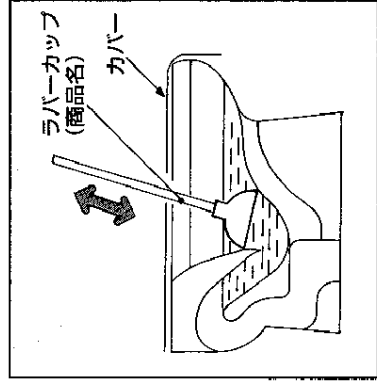
# 使用上の注意



1. 止水栓でタンクへの流水量を調節してください。流水量が多すぎると、ボールタップが故障したとき、オーバーフロー管から流れきれず、タンクからあふれて床を水びたしにしたり、階下に被害を及ぼすことがあります。また、使用水量も多くなります。  
(止水栓の調整方法は10ページをご覧ください。)



2. 便器には柔らかい紙以外のものは流さないでください。また多量の紙を一度にまとめて流さないでください。詰まる原因となります。誤って物を落としたりしたときは、水を流す前に必ず拾い上げてください。万一、便器が詰まったときは水を流さないでください。そのまま水を流すと便器から汚水があふれ床を汚します。  
ラバーカップを使用し、次の要領で詰まりを取ってください。  
便器の排水入口をふさぐように、ラバーカップを静かに押しつけ、勢いよく手前に引いたり押ししたり数度繰返してください。  
そのとき、透明ビニルでカバーしておくことと汚水の飛び散りを防ぐことができます。

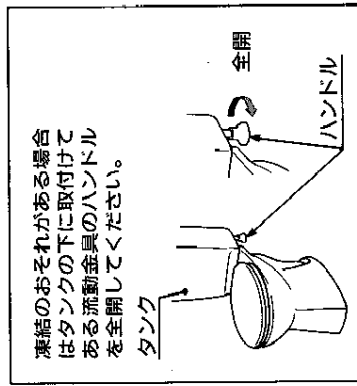


- ラバーカップは百貨店、スーパー、金物店などで販売されています。ラバーカップが使用できるのは、汚物や紙などが詰まったときです。固形の異物が詰まったときは、取れませんが、お近くの工務店にご相談ください。

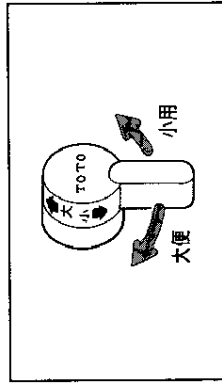
## 防露層

水温が低く、室温や湿度が高いときはタンクの表面に露が生じ、床へ流れ落ちることがあります。防露層はこのような露を防ぐ役目をします。

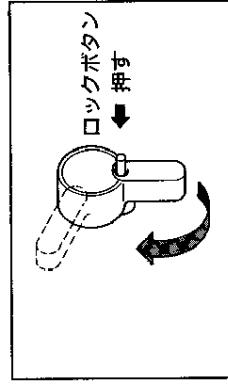
## 使用方法



1. 凍結のおそれがある場合(流動方式のみ) タンクの下に取付けてある流動金具のハンドルを全開してください。

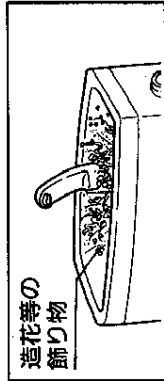


2. レバーハンドルの使い方。大便の場合「大」の方、小用の場合「小」の方へレバーハンドルをまわしてください。



3. 凍結のおそれがある場合(水抜方式のみ) タンクレバーのロックボタンを押し、レバーがロックされるようにして、次の要領で使用してください。  
(1) 使用前にタンクレバーを下向きにし、水抜栓を開いてタンクに貯水してください。  
(2) 洗浄後はタンクレバーを矢印の方向(「大」の方向)に一杯に回し、そのままに、水抜栓を閉じてください。

造花等の飾り物



3. 手洗鉢の中に造花等の飾り物を置かないでください。万一、その一部がタンク内に侵入すると、止水不良の原因になったり、排水を阻害して手洗鉢から溢れることがあります。

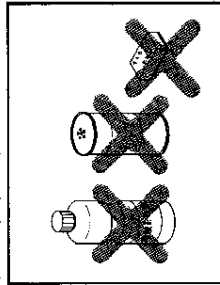
4. 長期間留守にするときは、止水栓を閉めてお出かけください。こうしておけば留守中に万一の故障も起きず安心です。

5. 洗淨芳香剤等の異物をタンクの中に入れてしまうと、内部金具に干渉し、止水不良になるおそれがありますので、ご使用はおすすめできません。

## 手入れのしかた

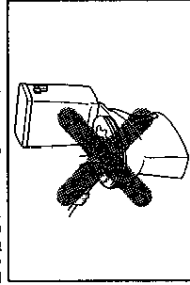
器具はお手入れ次第で清潔さを保ち、長持ちさせることができます。日頃からこまめにお手入れをしてください。なお、クレンザーやナイロンたわしは器具の表面を傷付けますので使用しないでください。

### 1. 金具の手入れ



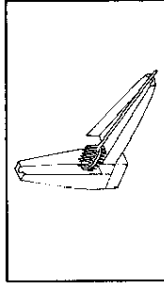
めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように普段は柔らかい布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしませた布でみがいてください。お手入れが十分ですと、いつまでもさびたりせず美しい輝きを失いません。なお、酸性洗剤はめっき面を傷しますので使用しないでください。もし、使用したときは、すぐに器具を十分水洗いしてください。

### 2. 便座の手入れ



通常は乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布でふき、そのあと必ず乾いた布で水気をふきとってください。また暖房便座をセットした場合は、便座に水をかけて洗わないでください。(内部の部品が傷むことがあります)

### 3. 便器の手入れ



便器の内面は洗淨水で洗われますが、便の状態によっては付着し落ちにくいことがあります。そのままにしておかずすぐに洗い落とすようにしてください。百貨店、スーパー、金物店などで図のような棒たわしが販売されていますので、備えておかれると便利です。

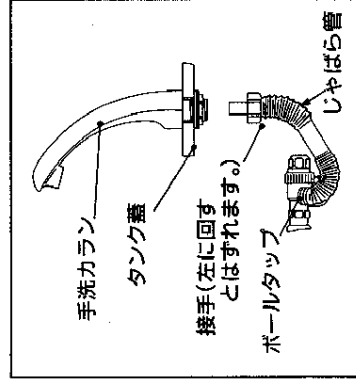
## 故障したときは

簡単に直らない故障の場合は故障の状態をご確認の上、お近くの工事店が役所の指定工事店にご依頼ください。指定工事店がどこにあるかわからないときは、役所の上下水道担当窓口にお問い合わせください。なお、ご不明な点がございましたら、最寄りの弊社事業所にご相談ください。

## 修理を依頼される前に

トイレには、水が止まらない、タンクに水が溜らないなどの故障がときと起ります。おすかしい故障は、専門の工事店さんに任せるとしても、まず診断して簡単な故障はご家庭で修理されてはいかがでしょうか。(7ページ参照)

### タンク蓋のはずし方



(1) 止水栓を閉めてください。

(2) タンクの蓋を取りはずしてください。

(A) 手洗無しの場合

タンクの蓋を持上げると取りはずせます。

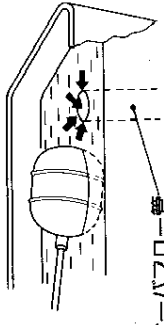
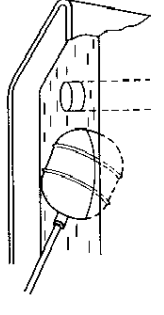
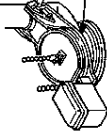
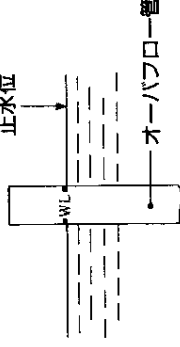
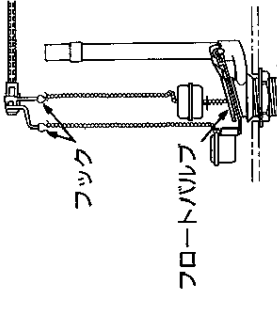
(B) 手洗付の場合

手洗カランとボールタップがじゃばら管で接続されています。

タンクの蓋を持上げてから接手をゆるめると取りはずせます。

### 水がとまらない

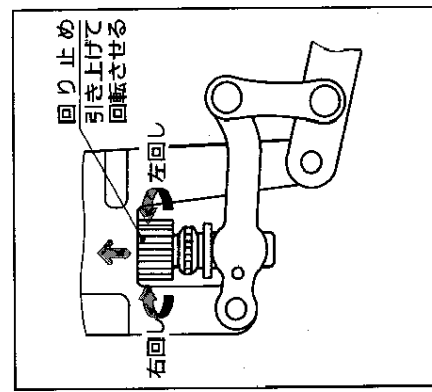
下表に従って修理してください。

<p>状態</p>	<p>(1)あふれている</p> 	<p>(2)あふれていない</p> 
<p>原因の一例</p>	<p>ボールタップの弁座パッキンの摩耗などにより、止水位が高くなって生じることがあります。</p>	<p>排水弁のフロートバルブがいたんでいるために水がとまらないことがあります。</p> 
<p>修理の方法</p>	<p>止水位がオーバフロー管のWLに合うように、ボールタップの水位調節部を操作してください。調節方法は次ページをご覧ください。もし、この調整してもなおらないときは修理を依頼してください。</p> 	<p>フロートバルブは消耗品です。いたんだら新しいものと交換してください。</p> 

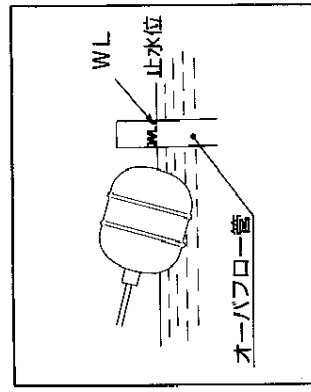
※部品の購入先は最寄りの弊社事業所にお問い合わせください。

### 止水位が合っていないときは

止水栓を開き、次の要領でタンクに水が溜まったときの水面がオーバフロー管に印してあるWLに合うように調節してください。

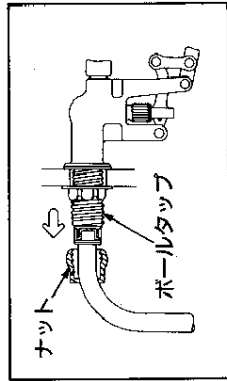


回り止めを図のように引き上げて回すと、水位を上下させることができます。そのとき、浮玉を軽く手で押えておくとスムーズに回ります。水位が高い場合は上より見て左方向に、水位が低い場合は上より見て右方向に回してください。調節が終わったら回り止めを引き下げて確実にロックしてください。調節後、水を流し、水位が合っているかご確認ください。(手洗付の場合は、じゃばら管接手を下に向けてください。)

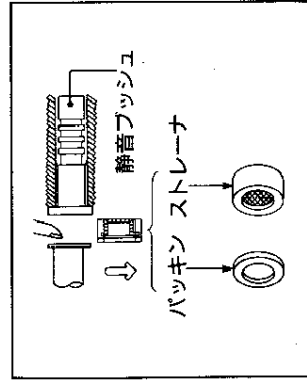


## 水の出が悪いときは

止水栓を開め、次の要領でストレーナの掃除をしてください。

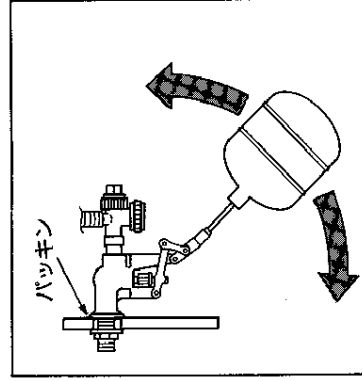


- (1) ナットをスパナでゆるめ、ナットを横にずらしてください。



- (2) ストレーナ部を指で押し下げてストレーナを取り出し、掃除してください。

(※) ストレーナを掃除しても、水の出が悪い時は静音ブッシュをはずしてください。  
その場合、接続部には工事店から渡されたバックシンを使用してください。



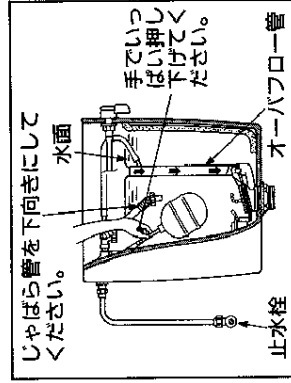
- (3) ストレーナ掃除後、元のように組み込み、ナットをスパナで締め付けてください。  
浮玉が上下にスムーズに動くように正しく取付けてください。

なお、左給水ボールタップ取付用の角穴はあらかじめ5°程度傾けてあります。  
不良品ではありません。

- (4) 取付け完了後、止水栓を開き、ナット部からの水漏れ及びボールタップがスムーズに動くかをご確認ください。

## タンクから水をあふれさせないために

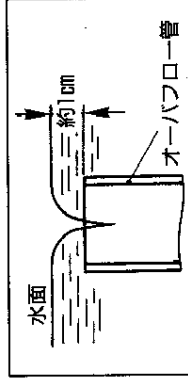
万一ボールタップの故障で水がとまらない場合でもタンクから水があふれないようにするために次の要領で調節を必ず行ってください。



止水栓を全開にし、浮玉を押し上げオーバーフロー管へ水をあふれさせます。このとき水面が、オーバーフロー管より10mm以上上昇しない程度に止水栓で調節してください。

## 止水栓の無い場合

- (1) 元バルブをしめてタンクの蓋をとり左図の要領で水が飛び散らないようにしてください。  
(タンクの蓋は6ページに従って取りはずしてください。)



- (2) 次に浮玉を押し上げて元バルブを徐々に開いてください。  
この状態で水面がオーバーフロー管より10mm以上上昇しない程度に元バルブの開きを調節してください。